

# 《2013-14 シーズン活動報告書》

一般社団法人 障害者スキー振興協会



2013-14 シーズンが終わりました。協会を立ち上げ2シーズン目になりました。今季の大きな成果は、梅池スキー学校のインストラクターの『実際に障害者へ対する指導について、大きな不安が大きな自信に変わった』という言葉を書く事ができた事です。どのような障害があっても『いつでも、どこでも、だれでも』スキーを楽しむことができる環境整備という目標に向かい、確実な成果をあげる事ができました。以下、ご報告させていただきます。

## 『梅池スキー学校』

2014年3月6日、3月13～14日の2回、梅池スキー学校(長野県小谷村)において、昨年に引き続き指導者講習会を行いました。3月6日は、スキー学校駐車場からスキー学校までのサポート方法をシミュレーションし、下肢の障害だけでなく、視覚障害者や車椅子使用者へのサポート方法の実習も行いました。また、スキーをはき視覚障害者の誘導や伴走、指導時の注意点を伝え、実際に視覚を隠しリフト乗車やゲレンデ滑走を行いました。

3月13～14日は、ダウン症、脳性麻痺(立位による歩行可能)、視覚障害(全盲)の方を招き、これまでの講習会で指導した事を実践形式で講習する事ができました。三名の方はスキー経験があるものの、実際には技術面やスキー環境、ご自身の障害の進行などで問題がある方です。ですが、これまでのスキー経験をから、『もう少しこのようなサポートが欲しい』、『今の言葉では分かりづらい』など、きめ細かくインストラクターへ伝えて頂き、これからの受入れに向けて基礎を築く事ができました。また、三名の方も、それぞれの問題点をスキー指導経験豊富なインストラクターにより、解消してもらえた部分が大きく、参加者全員とても充実した二日間になりました。



## 『西町インターナショナルスクール』

2013年10月12日、西町インターナショナルスクール(東京都港区)において、フードフェアが開催されました。その一角に、当協会のブースを出展させて頂き、英語訳のパンフレットを配り、実際に器具も展示し、在校生やその保護者だけではなく、世界各国の方に協会の活動を紹介させて頂く事ができました。また、多くの方から協会の活動趣旨にご理解ご支持を頂き、ご寄付を頂戴しました。

12月5日、7年生(中学1年生)を対象にした障害者スキーの講義を行いました。体育館を使用し、視覚障害者のスキー滑走を疑似体験。アイマスクをして視覚を妨げた生徒と、音や声で誘導するガイド役に分かれ、障害物を避けながら体育館内を歩きました。平地でゆっくり歩くのでさえ、恐怖を感じる生徒や、視覚からの情報の大きさを感じる生徒もいました。その後の、様々な障害者にもスキーは楽しむ事ができるという話しを、驚きと希望を持って聞いて頂く事ができました。

2014年2月19～21日、岩原スキー場(新潟県湯沢町)で行われたSki Tripにおいて、障害を持つ生徒へのスキー指導を行いました。山頂からの雄大な景色を眺め、教室で机を並べる友達とともに、白い雪景色を堪能しました。また、当日の様子が毎日小学生新聞に掲載されました(下記)。

2月24～28日、同じく岩原スキー場において行われた中学生のSki Tripにおいて、障害者スキーの体験授業を行いました。12月の講義の内容を思い出しながら、立位でのアウトリガーでの滑走、座位でのバイスキーでの滑走を7年生全員が行いました。実際にリフトに乗り、雪山を滑り降りる経験をした後は、障害に関係なく同じスポーツを楽しむ事ができる、という事を実感したと話しをしてくれました。



## 『星野リゾート・アルツ磐梯スキー場』

2014年3月20～22日、星野リゾート・アルツ磐梯スキー場(福島県猪苗代町)において、障害者スキー体験会を開催しました。3月20日は、スノーアカデミースタッフを対象にし、30名の方が参加され、各々の気持ちが詰まったアルツ磐梯スキー場において、今まで受け入れる事ができなかった障害者の方へも、スキーの楽しさを伝えたい、という気持ちを持って頂く事ができました。

また、21～22日は、一般来場者の方を対象にし、体験会を行いました。雨・風・雪とあいにくの天候が続きましたが、多くの方にご参加頂き、障害者スキーの可能性を体験して頂く事ができました。パラリンピックで知られるチェアスキーだけでなく、バイスキー、アウトリガー、スキーブラを実際に体験して頂き、どのような障害をお持ちの方でもスキーができる、ただし指導には高いスキルが必要という事も合わせて感じて頂く事ができたかと思えます。一般来場者の方の参加者は、幼稚園児から72歳までの男女。今回の体験会のためだけに新潟県よりお越しくくださった方もいらっしゃいました。スキーヤーだけでなくスノーボーダーにも興味を持って参加頂き、理学療法士・作業療法士・看護学生など医療従事者も多くご参加頂きました。

体験会開催期間3日間、センターハウス入り口正面において、器具の展示に合わせ、当協会の活動内容をスクリーンにて流しました。器具を間近で見る機会になり、多くの方々が足を止め興味深そうに見て頂きました。



## 『大宮西ロータリークラブ』

2014年3月10日、大宮西ロータリークラブ(埼玉県さいたま市)において、当協会の活動の紹介をさせて頂きました。器具の展示、スライドを使用した説明をし、皆様からの大きな応援とともに、ご寄付を頂戴しました。今回の寄付は、バイスキー購入の一部に充当させて頂きました。



## 『公益財団法人ノエビアグリーン財団助成事業』

2014年度、公益財団法人ノエビアグリーン財団(東京都中央区)の助成事業に選ばれました。児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体、に対して助成され、105件の応募の中から選ばれました。2014-15シーズンの普及活動、ならびに器具の購入等に充当させて頂きます。

公益財団法人 ノエビアグリーン財団 <http://www.noevirgreen.or.jp>

応募資格	団体名	事業の名称	事業内容
A	一般社団法人 アカデミーキャンプ (神奈川県)	福島ドラゴンボート アカデミー	被災した福島の子供たちの心身の健全な育成を目的に、ニュースポーツ「ドラゴンボート」のクラブチームを結成し、合宿を実施
	一般社団法人 障害者スキー振興協会 (埼玉県)	障害者スキー 普及活動	障害者スキーの普及と障害のある児童でもスキーを楽しむ環境作り
	特定非営利活動法人 練馬区水泳連盟 (東京都)	ノーマライゼーション 水泳フェスティバル	障害者シンクロナイズドスイミングの普及のため、障害者と健常者が一緒に参加する個性発表会を実施

## 『メディア』

### Big issue

株式会社ギムニク様のご協力により、Big issue vol.228 号に、当協会の広告ページを掲載させて頂きました。



### 福島中央テレビ

FTV スーパーニュース(3月21日)において、アルツ磐梯での障害者スキー体験会風景と代表理事津川のインタビューが放映されました。



### 毎日小学生新聞

ソチパラリンピックも開催された事もあり、障害者スキーの可能性や現状を取材したいとのご連絡を頂き、実際に雪上での器具の説明や体験、また、レッスンの取材もして頂きました。大きな記事にして頂き、当協会の活動内容を詳しく掲載して頂く事ができました。

(2014年3月4日掲載：別紙)